

# 「シンプル」思考が人生を変える

「人生は非常に複雑だ」「人生はそれほど簡単では無いよ」歳を重ねるにつれ、このような発言をよく耳にする。しかし、自身、人生で起きる様々な出来事をシンプルに考えることで道が開けた経験は数知れずある。今回はシンプルに考え、行動することの効果話してみたい。

**給** 料袋に夢を合わせる人と、夢に給料袋を合わせていこうとする人に分かれる。二十歳の頃に教わり、私は後者の人

生を選択した。今の自分に満足するのではなく、自分を高め、能力を磨き、実力をつけて、高給取りになるんだと、自分の器を広げることを目指した。友人から儲かるビジネスの誘いもあったが、私は今の職場で勝ち上がると一蹴した。決して自慢できるほどの良い職場環境ではなかったが「これもご縁だ」と思い、目の前の仕事に集中した。何かを得るには何かを断つことだ。趣味のビリヤードやスノーボードをやめて、大好きな音楽やファッションに時間とお金を費やすのもやめて仕事バカになった。頭のなかをシンプルにしたのだ。

とは言え、数年が経つと次第に会社への不満が出てきた。商品のこと、運営方法、職場の体質など、改善できる点はいくらでも見えた。そこで私はどうしたかというところ、「何も言わない」という作戦をとった。仕事で成果を上げ、上司から意見を求められるのを待つことにした。一般社員があれこ

れと言ったところで実績がともなっていないければ説得力なんて無いと思ったからだ。

チャンスは思ったより早く来た。筆頭主任になった私は、実に多くの意見を求められるようになった。そして課長から部長へと引き上げてもらった。入社十一年目のことだった。そこからは、面白いように自分の意見が採用された。入社当時から改善したいと思っていたことが次々に実現していく。自分を磨き、上司の期待に応えて戦った十年間が実ったのだ。

そして独立し、念願の社長になるという夢が叶った。

**物** 事をシンプルに考え行動するという考え方は、私の人生を変えた。例えば、懸案事項は即時処理して、抱え込み過ぎないようにする。身の回りは、使っていない物は捨てるか、必要な方に差し上げて整理する。携帯の中の写真やメール、PCの中身、カバンの中、机の引き出し、本棚など、捨てられる物は捨てて軽くする。これによって環境、頭、心が軽くスッキリし

た状態になり、良い判断・決断ができるのだ。常に一杯一杯な状態でなく、余裕を作りながらやっていけば、急を要する事態が発生しても落ち着いて対応できる。

事業の戦略も非常にシンプルで「周りのために働く」「結果はついてくる」という考え方だ。少しかだけ披露すると、就活支援「プレミアムスタイル」は次のとおりだ。

- 一、学生の最高の味方であれ。就職先が決まるまで支援せよ。
  - 二、取引企業を新入社員の力で活性化せよ。
  - 三、教授やキャリアセンターを支援せよ。
  - 四、進路を確定させ、ご両親を安心させよ。
- 宣伝も必要だが本物のサービスの提供すれば、必ず世の中に広がるという信念で全社員一丸となって邁進している。

青森が生んだ版画の巨匠棟方志功は「三万六千五百朝」と言った。何事も無限に続くことはない。その限られた時間とお金と体力を何に注ぎ込んでいくのか。

「シンプル」思考が、皆さんの人生を軽やかにし、良い方向へ向かえばこれほど嬉しいことはない。



※たとえ100年生きて、朝は36500回しか迎えられない。人生には限りがあるという意味

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 **室舘 勲**  
Isao Murodate

1971年青森県に生まれる。2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。2007年ブータン王国王立マネジメント大学にて講演。就活支援「プレミアムスタイル」は2015年4月入社の内定率98.37%を達成。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「仕事で結果を出す人の頭の中」(しのめ出版)がある。